

第16回 SGRA カフェ

「安全であること —環境と感覚、ジェンダー、人種、セクシュアリティから考える—」

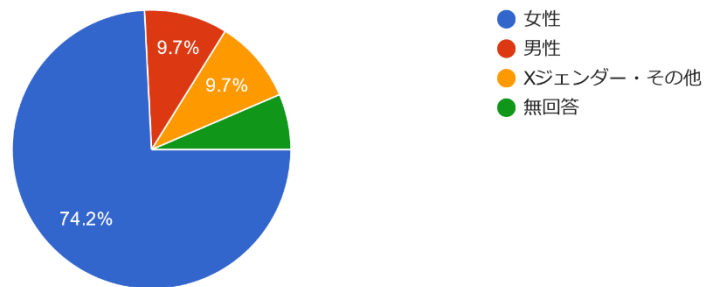
実施日:2021年7月17日(土)

方法:Google Form 入力

回答数:31件

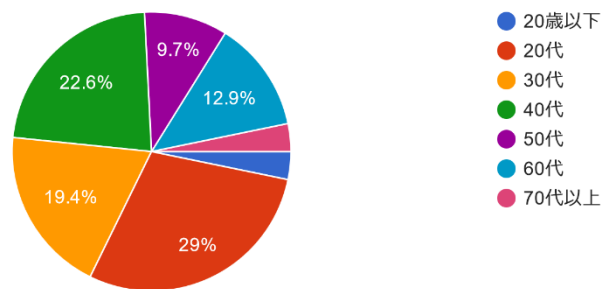
性別

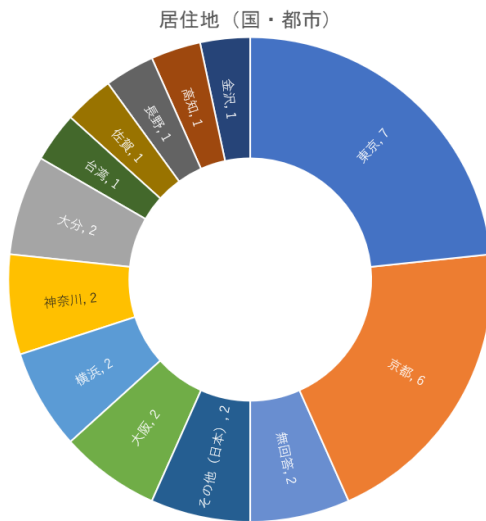
31件の回答



年齢

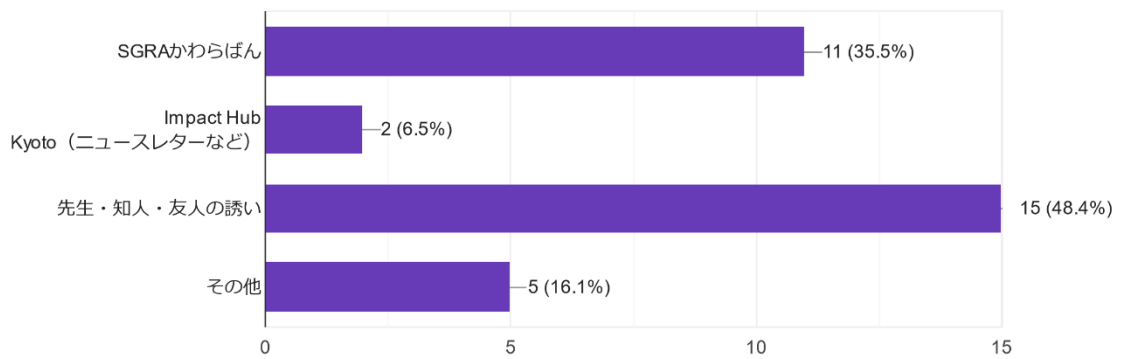
31件の回答





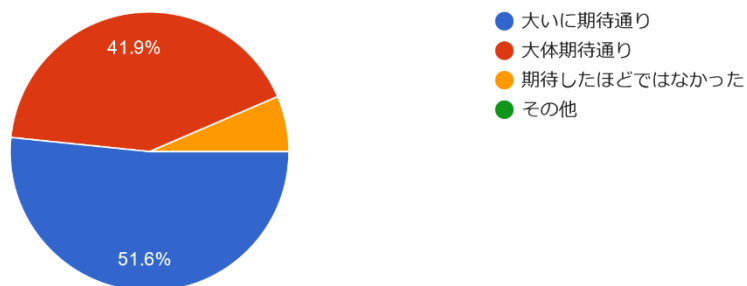
今回のイベントを何でお知りになりましたか？（複数回答可）

31件の回答



このイベントは期待通りでしたか？

31件の回答



もしよろしければ、このイベントに関してのご感想・ご意見及びこれから希望している企画の内容を書いてください。

15 件の回答

- 安心、安全、安心感とそれが不足している状況についてのお話が、コロナで疲れた今の気持ちを整理してくれたように感じました。また中島さんのご発言の端々から、団体の名前をレジリエンスと付けられた姿勢を感じ、印象深かったです。久しぶりのリアルイベントで、お菓子の準備までお心遣いいただいていたのに、きっかけがつかめず、どなたともお話しできなかったのが、ちょっと残念でした。
- 発表者を絞り込み、テーマも一つにしたほうがよかった。発表者の思いはわかったが、結局何がメインなのかを、まとめてくださればもっと理解しやすかったかもしれません。
- 参加者のみなさんがそれぞれの分野でアクティビストで、具体的な実践を踏まえた深いお話を聞いてよかったです。安全と安心との関係はまだ語り尽くせなことが多いので、また続編もぜひやっていただければと思います。本日はありがとうございました。
- 気づきがあり、日常の中でいかしていきたいと思いました。また、このようなイベントがあれば、参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。
- 安全についてあまり考えたことがなかったが、安全でない状況にある人を助ける手立てを知りたいと思った。
- さちさんのお話がグッとこころに来ました。こころの中ですごい拍手しました。マイクさんの話も気持ちがこもっていて伝わるものがあったし、キニさんの活動に根ざしたお話も興味をひかれました。もっとみなさんのお話を聞いていたかったです。ありがとうございました。
- それぞれの事例報告でなかなか行き届かない行政の問題、それをカバーするコミュニティ活動など共有できてよかったです。特に中島さんのお話がとても印象に残りました。これからの企画で、アートと社会などを取り入れていただけたらと思います。
- 日本語で聴いていてもかなり難しい内容でしたが、声をかけられる人でありたいと思いました。
- ありがとうございました。アカデミックなイベントの拝聴に緊張しましたが、自分が不安と恐怖に満たされたとき、5名の皆様のお言葉を思い出したいです。また、おびえているだ

けの自分が何もできず、それどころか恐怖に囚われいつのまにか人を傷つけてしまうことがあるため、その様な者によい道はないかということも、思いました。『安全であること』このテーマで、このメンバーの皆様でこれからもイベントを続けていただければ幸いに存じます。

- 「安全」について考えるきっかけになることができました。 自分自身は、国籍・言語等々の面で日本において、非常に特権を有していることを改めて向き合うきっかけになったと共に、そこに留まらず、自分が特権を持ってるからこそできる事があると思いました。ただ、最近自分も「安全」だと思っていた場所が「安全」に思えなくなっていたり、以前は一番信頼していると思っていた家族が「安全」に思えなくなった経験があったりと、本当に身近なトピックだと改めて思いました。 なので、「私には関係ない」とってしまう人に対して、一つにきつと多くの特権を有しているからという理由もあるかもしれませんが、もしかしたら、辛い状況に強制的に向き合う心の「安全」が保たれていないのかも...と思うと、主語を大きくしてはいけないと改めて感じました。 ありがとうございます。
- パネラーの方々それぞれの活動を通じた真摯な言葉が心に響きました。素敵なイベントに参加できて感謝です。
- 安全の定義は何だろうか考えさせられるウェビナーでした。安全な社会であるために、安心してられるように、身近なコミュニティ作りからはじめるという話は非常に参考になりました。辛いときは助けを求めることは重要ですね。私は今年就活生であったため、心が辛く苦しいときが多かったです。そのようなときは身近な友人に話を聞いてもらったりして不安を和らげました。自分らしくいられるように、不安をお互いに共有しあえる友達をこれからも大切にしていきます。また、落ち込んでいる人に対して積極的に声がけをしていきたいです。
- 幸さんの最後のコメントでの「安全・希望・つながり・居場所」という言葉が深く心に刺さりました。「ありのままのあなたでいい」それが人権なんだと自分なりの答えが出た気がします。現場で活かします。
- 個人的にとっても必要なお話を伺うことができ、大変感謝しております。まさに、頭では安全とわかっているのに、なぜこんなに不安なのか、安全感が得られていない状態に自分がいることに気づくことができました。サチさんは高校生にもお話をされているとのことでしたが、小学生からでもスタートできることはないかと、頭の中でぐるぐると考えています。若い子どもたちの自死の話を聞くと、他人事ではなく、本当になんとかしたいという気持ちでいっぱいになりました。警察のお話もとても興味深かったです。私事ですが、我が

子のことでも児童相談所などにも頼ったこともあります。一人ひとりの気持ちに寄り添うというよりも、「お母さん」というジェンダ一的に偶像視された人材と比較されるような対応を受け、それに当てはまらないと思込む事になる自分には、もちろん希望も安心も訪れませんでした。もし法律や行政に希望を見出すことができなければ、自分たちが起こせることはいくつかあるとお話を聞きながら感じました。まず、今自分がいるコミュニティに希望の種をたくさん撒きたいと思います。そのためにはもちろん、自分も安心を味わいながら。たくさんの気づきをありがとうございました！続編に期待しています！！

- もう少し時間が長ければより多くのお話や意見交換が出来たのではないかと思います、残念でした。しかし、限られた時間の中で有意義なお話をお聞き出来て良かったです。私自身、知人の声掛けで自分が精神的に不安定になっていたことにやっと気付くことができた経験があります。そのため、本日のお話を聞いて周りの友人とのコミュニケーションをより大切にしていきたいと思いました。さらに、友人ではなくても気にかかる人には声掛けをしていこうと思いました。自分が知人にしてもらって助かったように、相手の支えになればいいなと感じました。